



こんにちは

日本共産党市会議員

<議会報告>

玉本なるみ

です

連絡先：日本共産党北地区委員会

☎075 - 432 - 3261

2014年12月発行

議会報告 教育福祉委員会 12月16日

請願「就学前幼児の医療費の無料化」

3歳から医療費が2割負担になる京都市は、他都市に比べて遅れていることを追及しました。なんと、「政令市では無料化は8都市だけで、さほど遅れていない」と自覚なしの答弁でした。

請願「全員制の中学校給食の実施」

今の選択制の給食は、家からお弁当を持って行く生徒と持って行かない生徒、さらにコンビニ弁当や菓子パン等の生徒もあり、差を作っている事。全国で8割近くが全員給食であり、実施を求めました。京都市は選択制だけど全員に選べるしくみを作っていることから、全員給食にカウントされているそうです。そこで、全員が注文したら、配膳室などの条件は整っているのかと聞くと、改善が必要な所もあると答弁されました。

日本共産党8議席→21議席に躍進！

21議席あると議案提案権を得ることができます。さらに、国民に日本共産党の活動や役割を大いに知っていただくことができると思います。ありがとうございます。

一方、自民党は圧勝と言われていますが、議席は5議席減らし、得票も比例代表で33%にとどまっています。



右から、井坂市議、浜田府議、こくた恵二衆議員、玉本なるみ市議

産廃業者「上村組」産廃収集運搬業等許可取り消し

雲ヶ畑上流地域を拠点にしていた上村組が、産業廃棄物収集運搬業（積替保管を含む。）、産業廃棄物処分業（中間処理（破碎））、産業廃棄物処理施設設置（木くずの破碎施設）の許可を12月15日に取消されました。5年間は許可申請できません。

産業廃棄物処理をする業者は必要ですが、不正はいけません。さらに、賀茂川の源流を汚染するようなことは許せません。賀茂川の源流を守ろうと運動をされてきた皆さんや雲ヶ畑の皆さんの長年の運動が、行政を動かしたと思います。

今回を機会に賀茂川上流に産廃業者のトタン塀などをなくし、景観も美しくしたいものです。これからも、引き続き住民の皆さんと一緒に頑張ります。

<行政処分理由>

株式会社上村組は、同社が元請業者となった少なくとも5件の解体工事（平成25年9月～平成26年4月）において、(1)委託契約書を作成せず、(2)運搬の最終目的地を明示することなく、(3)運搬先の産業廃棄物処分業者に処分の委託をすることなく、工事に伴い生ずる産業廃棄物の運搬を下請業者に委託した。また、いずれの工事においても、(4)当該下請業者に産業廃棄物管理票を交付しなかった。

今年の流行語大賞の2つはセットで、値打ちがあります。



「ダメよ～ダメダメ」のギャグをブレイクしたのは、日本エレクトリック連合というコメディアン女性二人。集団的自衛権の方の受賞者は安倍首相ですが、賞は辞退したそうです。プラスターにして、宣伝にも使いました。



張り引きもつた。増やしていただき、もっと広げたい。頑張ります！

長年、住み慣れた地域のお店として、地域に馴染み、お商売をされてきた方にこんなことを言わせる政治はおかしい！...とこの怒りを原動力にして、安倍政権の暴走をストップさせようと頑張りました。消費税増税ストップ！労働者の賃金を上げ、購買力を付け景気回復を！と提案し、共感の輪が広がりました。議席も増やしていただき、もっと広げたい。頑張ります！

と。もう10年もしたら、この商店街もほとんどが同じような状況やと思うよ！...と。

息子はいるけど、継いでくれとも継ぐとも言わない。自分の代で終わりたい。もう10年もしたら、この商店街もほとんどが同じような状況やと思うよ！...と。

そして、お商売をされている方も、材料費は上がるのに、商品が売れず、機械などの投資はできないということなんです。

気がついた方も多いのではないのでしょうか...。消費増税で、消費者も大変です。外税になっっているのに、レジでお金を払う段階で8%が上乗せされて、その負担の重さにか...。

北区のある豆腐屋さんの言葉です。商店の人に「お商売どうですか？」と聞きたするのは、厳しい状況はがわかっていて、だけに辛いですが、あえてお聞きしています。その声を議会に届けるのが私の仕事だからです。

「この機械が壊れたら潮時や」

アンテナ

